令和６年度子ども参画型社会創造支援事業【宮城野区】

「キッズもりあげ隊」 宮城野区中央市民センター（地区館）×（拠点館）

１　事業概要

「キッズもりあげ隊」は、原町小学校と宮城野小学校から集まった子どもたちが企画員になり、毎月１回の作戦会議で“地域を盛り上げるために自分たちにできること”を話し合います。前身の子ども商工会の活動を含めて１３年目の事業です。また、まちづくりや子どもの活動支援に関心のある大学生や専門学校生が学生アシスタントとして、話合いのファシリテーターや活動のサポート役を務めています。

２　令和６年度の活動

（１）こどもオンライン交流会　ご当地クイズ championship

８月に、全国８つの公民館が Web でつながり子どもたちが交流するご当地クイズを開催しました。子どもたちは事前にクイズや説明する内容を手分けして考え、発表の練習をし、準備を万端に整えました。当日は各公民館で活動する子どもたちと、学校給食を紹介し合ったり、ご当地クイズを出し合ったりして楽しみました。準備する中で、自分たちが住む地域についてあらためて考え、話し合い、理解を深めました。そうして学んだ地域の魅力を全国へ発信する機会となりました。

（２）「冬の大運動会」

子どもたちの＂地域をもりあげ、自分たちも楽しめることをしたいと”いう思いから、２月の「冬の大運動会」開催を決めました。作戦会議では、新しい競技「ミッション徒競走」のアイデアが出て、誰もが楽しめるやり方を考えるために話し合いました。どんなイベントにするか決まるまで予想以上に時間がかかりましたが、学生アシスタントのファシリテートもあり、みなが納得する形でまとまりました。令和７年２月１６日（日）開催予定で、着々と準備を進めています。また会議の他にも、クリスマス飾りを作って地域のイベント「ペットボトルイルミネーション点灯式」を盛り上げました。

３　成果・今後の展望

昨年から続けて参加するメンバーが多いため、意見を出し合いやすい雰囲気ができており、また３・４年生の時にはあまり発言できなかった児童が自分の考えを発表する姿が見られました。事業を継続する中で、子どもたちに考えて主張する力が育っていることや、学校を越えて協力して取り組むつながりが生まれていることが見られます。

また、年代の近い学生アシスタントが、アイスブレイクをしたり、活動をサポートしたりすることで、今年度初めて企画員になった子どもたちも安心して活動できており、世代間の交流につながっています。

今後も、子どもたちの“やってみたい”という気持ちを大切にしながら、地域を盛り上げるための主体的な活動を継続して支援していきます。